

■第35回総会決議 第34期下期（2021年）の活動総括より

7) 女性と登山

「女性委員会の再編成については、引き続き検討していく」ことになっていたが、再編成には様々な困難があった。それは、全国労山の委員会の責任者にふさわしい全国理事を見いだせなかったことである。

「全国女性集会の開催を検討した」が、コロナ禍によって開催を中止した。地方連盟の意見を聞くために、アンケートを実施、13地方連盟（女性委員会がないところ5地方連盟）からアンケートへの回答が寄せられた。

アンケートの内容は、一昨年 of 女性担当者会議で出された「携帯トイレ普及」、「女性委員会の名称」問題、女性と登山」の対策等についてだった。

地方連盟に女性委員会・女性ネット・女性部などの名称があるのは、約35%前後（2017年の女性委員会の調査と今回のアンケート調査によるもの）で、主な活動は、交流山行、山筋ゴーゴー体操普及、ロープワークの学習、地方協議会の搬出訓練に参加などである。

山のトイレ問題については、ごく一部に「それは自然保護委員会の問題」という意見もあった。アンケートでは、やく50%が、①山のトイレ問題で質問され、②トイレに行かないように水分を控えている、③下山するまでおしっこを我慢している一状況にあった。

「女性委員会」の名称問題では、このままでよいと答えたのが8地方連盟（この内女性委員会がないのが4地方連盟）、名称を変えたほうがよい、と答えたのが5地方連盟であった。「女性と登山」対策の委員会に、「男性も入れるべき」と答えたのが6地方連盟、「女性だけがよい」と答えたのが5地方連盟だった。